

申込
不要

入場
無料

テーマ

どんな時でも命は輝く

～最期まで暮らし続けられる地域を目指して～

講師

現場の訪問看護師であり
地域包括ケアの先駆者

株式会社ケアーズ
白十字訪問看護ステーション統括所長

あきやま まさこ

秋山 正子さん



日時

12月14日 土

13:00開場 14:00～15:30

場所

ウッドワンさくらぴあ 大ホール

(はつかいち文化ホール 廿日市市下平良一丁目11-1)

※ご来場は、公共交通機関をご利用ください。

プログラム

13:00～ 開場(受付開始)

14:00～ 特定非営利活動法人廿日市市五師士会理事長 挨拶

14:05～ 講演

15:20～ 質疑応答

15:30～ 終了

主催 廿日市市五師士会 在宅医療・介護連携推進事業委員会

廿日市市在宅医療・介護連携相談支援室

お問合せ 廿日市市在宅医療・介護連携相談支援室

0829-30-9026

講師紹介

あきやま まさこ

秋山 正子さん



- * 株式会社ケアーズ
白十字訪問看護ステーション統括所長
- * 暮らしの保健室 室長
- * NPO法人白十字在宅ボランティアの会 理事長
- * 認定NPO法人 マギーズ東京
共同代表理事 センター長

■プロフィール

秋田県生まれ。1973年聖路加看護大学卒業。関西にて臨床及び看護教育に従事。実姉の末期がんの看取りを経験時に、在宅ホスピスケアに出会い1992年から東京都新宿区にて訪問看護を開始。2001年母体法人の解散に伴い会社設立。現在、株式会社ケアーズ代表取締役、白十字訪問看護ステーション統括所長として、新宿区及び東久留米市にて訪問看護・居宅介護支援・訪問介護の3事業を展開。2011年、高齢化の進む巨大団地に「暮らしの保健室」開設。2015年、四谷坂町に看護小規模多機能（複合型）「坂町ミモザの家」を開設。“がん患者と家族のための相談支援の場、「マギーズセンター」を東京に”とNPO活動を展開し、マギーズ東京を豊洲に2016年10月オープン。センター長就任。

■受賞歴

- | | |
|----------|--------------------------------------|
| 2009年11月 | 社会貢献支援財団「平成21年度社会貢献者」表彰 |
| 2012年4月 | 第8回ヘルシー・ソサエティ賞 |
| 2012年11月 | 第6回「新しい医療のかたち」賞（医療の質・安全学会） |
| 2016年12月 | ウーマン・オブ・ザ・イヤー2017 チーム賞 |
| 2017年度 | グッドデザイン賞特別賞受賞
（暮らしの保健室 地域づくり賞として） |
| 2019年 | 第47回フローレンス・ナイチンゲール記章受章 |
| 2020年 | 第72回保健文化賞 個人 受賞 |

■主なメディア出演

- 2010年3月 NHK「プロフェッショナル 仕事の流儀」
- 2014年9月 NHKスペシャル「新宿“人情”保健室」

■主な著書

- つながる・ささえる・つくりだす 在宅現場の地域包括ケア（医学書院）
- 家で死ぬこと考えたことありますか？（保健同人社）
- 在宅ケアのはぐくむ力（医学書院） 他多数

高齢化が進展する中で、市民や専門職等の皆さまが最期の迎え方（場所）に多様な選択肢があることを知り、地域で暮らし続けるとはどういうことかを考えるきっかけにさせていただけたらと思っています。ご講演の中で、秋山先生の実体験や看護小規模多機能「坂町ミモザの家」の様子、マギーズ東京でのご活動についてお話しいただきます。



特定非営利活動法人
廿日市市五師士会
理事長 小笠原 英敬